

報告事項①

平成 27 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：平成 27 年 6 月 19 日
- ・ 場所：東京大学武田先端知ビル 武田ホール

② 理事会の開催

- ・ 平成 27 年 5 月 15 日、8 月 25 日、11 月 27 日、平成 28 年 3 月 18 日
- ・ 電磁的記録による理事会審議：なし

③ 執行部会の運営事務

- ・ 平成 27 年 5 月 8 日、8 月 7 日、10 月 22 日、平成 28 年 3 月 9 日、

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 役員候補推薦委員会：平成 27 年 12 月 24 日
- ・ 役員選挙管理委員会：（第 1 回）平成 28 年 1 月 18 日、（第 2 回）平成 28 年 4 月 6 日
- ・ 選挙公告：2 月 15 日、投票締め切り：3 月 25 日（消印有効）、開票：4 月 6 日

⑤ 若手対策事業の実施（関東シニアクラブと共催）：平成 27 年 8 月 25 日

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 規則及び細則の改訂（平成 28 年 3 月 18 日理事会：規則、印章取扱細則、職員就業細則）
- ・ 内閣府公益認定等委員会事務局による立ち入り検査（平成 27 年 10 月 28 日）対応

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成

(4) 広報

- ・ 学会ホームページ及び Facebook ページ内容の更新及び内容の検討
- ・ 会員管理システムの維持と情報発信の促進
- ・ マスコミ対応のあり方の検討

(5) 部会

- ・ メール審議（随時）

2. 事業計画部

(1) 平成 27 年度総会及びシンポジウムの開催

- ・ 日 程：平成 27 年 6 月 19 日
- ・ 会 場：東京大学武田先端知ビル武田ホール
- ・ テーマ：すべり面の形成過程と認定における根拠

- ・意見交換会：東京大学武田先端知ビル武田ホール
- ・参加人数：172名

(2) 第54回研究発表会及び現地見学会の開催

① 県民講演会

- ・日程：平成27年8月25日
- ・会場：山形テルサ 1F テルサホール
- ・参加人数：約200名

② 特別講演・研究発表会・意見交換会

- ・日程：平成27年8月26日～8月27日
- ・会場：山形テルサ
- ・参加人数：526名（内、意見交換会参加は346名）

③ 現地見学会

- ・日程：平成27年8月28日
- ・見学コース：Aコース：肘折カルデラ周辺の地すべり、Bコース：月山周辺の地すべり、
Cコース：蔵王火山周辺の地すべり
- ・参加人数：89名

(3) 2015年最近の地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・日程：平成27年11月27日
- ・会場：一橋大学一橋講堂
- ・研究調査部と共催

(4) 研究発表会あり方検討ワーキングの開催

- ・日程：平成27年8月27日
- ・会場：山形テルサ（以降はメール審議）

(5) 部会の開催

- ・日程：平成27年4月23日、6月8日、8月27日、10月23日、12月7日、
平成28年2月5日
- ・平成27年度シンポジウムの準備と総括、平成28年度シンポジウムの準備
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
- ・第54回研究発表会の準備と総括、第55回研究発表会の準備
日程、会場、予算、投稿方法、セッション、企画、講演集、参加申込システムの検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ① 編集委員会の開催 27年4月～28年3月まで12回開催（月一回）
- ② 日本地すべり学会誌 Vol. 52. 3～53. 2 計6号
 - ・特集号「斜面对策事業・研究の海外展開と課題」
 - ・特集号「地すべり空間情報データの利活用」
 - ・特集号「長距離移動を伴う地すべり」

- ・ シリーズ：「空から見る日本の地すべり地形」の継続
 - ・ シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード101」の継続
 - ・ 賛助会員による「わが社の技術」の掲載開始 (Vol. 52.3～)
- ③技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦
- ④学会誌への掲載料改定 (カラー掲載の推進)
- ⑤投稿規定等の改訂

(2) 出版委員会

- ①委員会の開催
- ・ 定例：平成27年4月15日(東京都)
- ②販売図書の管理について整理、図書リスト作成
- ③販売図書の宣伝活動 (学会誌への掲載等)
- ④学会が発行する出版物のリスト作成について整理

4. 研究調査部

(1) 研究委員会

平成27年度の助成金対象研究委員会は継続が2委員会である。

A 日本地すべり学会における地理空間情報等の共有推進にむけた検討

代表 内山庄一郎・・・3年目

B 斜面モニタリング技術を用いた危険度評価手法に関する研究

代表 酒井直樹・・・2年目

Aの委員会は今年度が最終年度であるため、学会誌平成28年1月号で新しい助成金対象研究委員会を募集した。

(2) 受託業務

- ①局地的大雨による大規模表層崩壊発生機構の解明と危険地抽出技術の開発
- ・ 発注者：国土交通省水管理・国土保全局砂防部
 - ・ 研究期間：平成27年7月22日～平成28年3月10日
 - ・ 委託額：19,864,000円
 - ・ 研究代表者：後藤聡

(3) 緊急災害調査及び報告会

①ゴルカ地震 (ネパール) に伴う地盤災害の緊急調査

平成27年4月25日にマグニチュードMw=7.8の地震がネパール中部を震源として発生した。日本地すべり学会では、この地震による斜面災害の実態把握とネパールにおける復旧・復興を支援するための委員会を立ち上げ、その先遣調査を平成27年5月29日～6月2日に実施し、現地調査を平成27年10月21日～11月6日に実施した。調査団は、檜垣大助(弘前大学)、長谷川修一(香川大学)、八木浩司(山形大学)、若井明彦(群馬大学)、山崎新太郎(北見工業大学)、佐藤剛(帝京平成大学)、千木良雅弘(京都大学)、他5名。

②地すべり・土石流災害調査報告会

平成 27 年度に実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・日時：平成 27 年 11 月 27 日（金） 15 時 00 分～17 時 00 分
- ・場所：一橋大学一橋講堂 中会議場 1・2
- ・報告内容：ネパール・ゴルカ地震の災害報告（その 1）
 ーランドスライド発生の分布状況（檜垣大助）
 ネパール・ゴルカ地震の災害報告（その 2）
 ー地震動とランドスライド・地盤災害（若井明彦）
2015 年鹿児島県垂水市深港川の土石流災害について（地頭菌隆）
「海底隆起」を伴った、羅臼町・幌萌地すべり（山崎新太郎）

(4) 研究調査部会

研究調査部会を以下の通り開催した。

- ・日時：平成 27 年 8 月 25 日（火） 17 時 30 分～19 時 00 分
- ・場所：山形テルサ 3 F 会議室（山形市双葉町 1-2-3）

5. 国際部

(1) 平成 27 年度第 1 回会合開催（H27. 8. 27、山形テルサ 3 階 特別会議室） 出席：11 名

(2) 海外調査団派遣細則作成

(3) 今後の活動検討

- ①国際会議の開催
- ②海外とのジョイントミーティング
- ③SATREPS 総括シンポジウムの開催

(4) Web 会議システム試行

(5) ICL への参画と各種協力

- ・ ICL 総会出席対応
- ・ WCoE、 IPL 関連業務への対応
- ・ 学術雑誌 Landslides の編集作業協力

(6) 日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝方法検討

6. 表彰委員会

(1) 学会賞（論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞）の審査

- ・ 会誌（Vol. 51(6) 公示）で会員からの推薦公募 締め切り：平成 27 年 3 月 1 日
- ・ 表彰委員会審議
 論文賞：該当無し、技術報告賞：稲垣秀輝、佐藤悦司、査読者賞：上野将司、
 研究奨励賞：河野勝宣、谷口賞：該当なし、国際賞：該当なし

(2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：平成 27 年 5 月 15 日

(3) 第 54 回日本地すべり学会研究発表会の表彰式で表彰状授与：平成 27 年 8 月 26 日

7. 会員数対策 WG

- ・平成 27 年 6 月 25 日, 7 月 24 日, 10 月 9 日：関東シニアクラブ（以下「関東 SC」という）運営会
- ・平成 27 年 4 月 11 日：関東 SC 談話会
- ・平成 27 年 7 月 4 日：関東 SC 見学会
- ・平成 27 年 8 月 25 日：若手 WG との協力企画セミナー
- ・平成 28 年 1 月 7～10 日：台湾地すべり巡検

8. 北海道支部

(1) 総会、特別講演、研究発表会

- ・日 時：平成 27 年 5 月 7 日
- ・参加者：209 名（会員 65、一般参加 144）
- ・場 所：北海道大学学術交流会館（札幌市）
- ・特別講演：研究発表会：特別講演（1 件）、研究発表（10 件）
『斜面对策工維持管理技術の現状と課題』
（国土防災技術株式会社 取締役技術本部長 榎田充哉氏）

(2) 第 1 回運営委員会

- ・日 時：平成 27 年 7 月 27 日
- ・参加者：28 名
- ・場 所：北海道総合研究プラザ（札幌市）
- ・会議内容：平成 27 年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(3) 第 2 回運営委員会

- ・日 時：平成 28 年 3 月 7 日
- ・参加者：27 名
- ・場 所：北海道総合研究プラザ（札幌市）
- ・会議内容：平成 27 年度事業報告・決算見込み報告、平成 28 年度 事業計画・予算(案)
本部動向、その他（役員改選について、各部・委員会について）

(4) 巡検部活動

現地検討会「礼文島の土砂災害」

- ・日 時：平成 27 年 5 月 27 日～5 月 29 日（2 泊 3 日）
- ・参加者：27 日（27 名）、28 日（34 名）
- ・見学地：① 2014 年に発生した土砂災害箇所の巡検
（桃岩トンネル周辺、津軽地区周辺、上泊地区、高山地区など）
② 過去に発生した礼文島での斜面災害箇所の巡検

(浜中地すべり、元地地すべり、元地冷水地すべり、元地川地すべり、
2003年岩盤崩壊箇所、2006年岩盤崩壊箇所など)

- ・案内者：(国独)土木研究所 寒地土木研究所 伊東佳彦氏、(地独)北海道立総合研究機構 地質研究所 石丸聡氏、防災地質工業(株) 雨宮和夫氏、防災地質工業(株) 石田博英氏、(株)開発調査研究所 磯貝晃一氏、明治コンサルタント(株) 清水順二氏、石井技術士事務所 石井正之氏
- ・共催：北海道地すべり学会
- ・協賛：(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会、北海道地すべり防止工事士会

啓発広報活動「土砂災害に対する地域防災力向上のための住民講演会」

- ・日時：平成27年5月28日
- ・場所：礼文町民活動総合センター「びすか21大ホール」(礼文町)
- ・参加者：60名
- ・講演内容：①『北海道・礼文島における豪雨災害』
(国研)土木研究所 寒地土木研究所 地質研究監 伊東佳彦氏)
②『身近な地形や気象の情報を知ることによって災害は回避できる』
(地独)北海道立総合研究機構 地質研究所 主査(防災地質) 石丸聡氏)
③『みんなで防ごう土砂災害！土砂災害防止に向けた北海道の取り組み』
(北海道建設部 土木局 河川砂防課 主査(傾斜地保全) 相原直浩氏)

(5) 広報部活動

- ・研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(6) 技術普及部活動

技術講習会

- ・日時：平成27年6月29日
- ・参加者：90名
- ・場所：自治労会館中ホール(札幌市)
- ・講習内容：『地すべりとは』((株)シン技術コンサル 渡邊司氏)
『地すべり調査方法』(明治コンサルタント(株) 清水順二氏)
『地すべり観測方法』(応用地質(株) 本間宏樹氏)

(7) 企画委員会活動

地すべり防災授業『山地防災教育 野外巡検』(高校への出前授業及び普及活動)

- ・日時：平成27年6月8日
- ・対象：北海道岩見沢農業高校森林科学科3年生39名
- ・場所：当別町、月形町(道民の森神居尻地区、国道451号、当別川流域)
- ・授業内容：
 - ・治山施設を観察し、その重要性や設計の考え方を学習。
 - ・地すべり地形変状等を観察し、地すべり発生メカニズムを学習。
 - ・地すべり観測機器と地すべり対策工を見学し実務面を学習。
 - ・当別川流域の露頭観察、地形地質の成り立ちを学習。

山地防災キャンペーンへの参加（主催：北海道水産林務部林務局治山課）

- ・日 時：平成 27 年 6 月 11 日、12 日
- ・対 象：一般市民（来場者 131 名）
- ・場 所：北海道庁 1 階ロビー（札幌市）
- ・内 容：斜面災害の現象や行政の取り組みに関する啓発活動。
地すべり模型を展示・実演する形で参加。

ジオ・フェスティバル in Sapporo 2015 での地すべり模型を展示・実演

（主催：ジオ・フェスティバル実行委員会）

- ・日 時：平成 27 年 10 月 3 日
- ・対 象：一般市民（300 名来場）
- ・場 所：札幌市青少年科学館（札幌市）
- ・内 容：主に子供たちを対象とし、地球科学、環境、自然、災害に興味を持ってもらうための普及活動。地すべり模型を展示・実演する形で参加。

地すべり模型の貸し出し

- ・4 月 23 日（一社）斜面防災対策技術協会（東京）に地すべり模型を貸し出し、宮城県南三陸町立歌津中学校 3 年生の防災学習に利用された。

(8) 技術委員会活動

第 1 回技術委員会

- ・日 時：平成 27 年 6 月 26 日
- ・参 加 者：29 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 5F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供
『2011 年 阿武隈山地地震断層のその後 ―各種深部探査解析結果の紹介―』
（有限会社アース企画 内山幸二氏）
『知床・羅臼町の「海底隆起」を伴う地すべりについて』
（北見工業大学 工学部 山崎新太郎 助教）

：討議 委員会活動について

第 2 回技術委員会

- ・日 時：平成 27 年 10 月 23 日
- ・参 加 者：9 名
- ・場 所：松崎南 1 条ビルディング 5F 会議室（札幌市）
- ・内 容：話題提供
『崩壊土砂用ハイジュールネットの紹介』（ライト工業(株) 甲斐谷雅良氏）
：討議 委員会活動について

(9) 研究委員会活動

第 1 回研究委員会

- ・日 時：平成 28 年 1 月 29 日

- ・参加者：41名
 - ・場所：コラボほっかいどう大会議室（札幌市）
 - ・内容：防災科研の地すべり地形分布図のこれから&羅臼町幌萌地すべり報告会
 『防災科研の地すべり地形分布図の全国完成とその利活用』
 『無人航空機と写真解析技術によるマッピング：羅臼町幌萌地すべりの事例』
 （(国研) 防災科学技術研究所 内山庄一郎氏）
 『羅臼町幌萌地すべりの地すべり末端変形』
 （(株)ドーコン 田近淳氏、(地独)北海道立総合研究機構地質研究所 川上源太郎氏）
 『羅臼町・幌萌地すべりとその侵食，最新状況報告』
 （(国法)北見工業大学 山崎新太郎 助教）
- ：報告・討議 地すべり活動度評価マップ作成
 『網走川支流、ドードロマップ川流域の地すべり活動性評価』
 （(国法)北見工業大学 伊藤陽司 准教授）

9. 東北支部

- (1) 支部総会 （平成 27 年 4 月 24 日 仙台市戦災復興記念館 参加者 52 名）
- (2) 支部シンポジウム （平成 27 年 4 月 24 日 仙台市戦災復興記念館 153 名）
- ① テーマ：刻々と変化する緊急対応型地すべり・崩壊・落石事例とその教訓
 - ② 基調講演：大河原正文氏（岩手大学）
2008 年岩手・宮城内陸地震と 2013 年秋田・岩手豪雨災害への対応と教訓
 - ③ 講演
 - ・ 鈴木滋氏（日本工営（株））
地すべり発生前の地盤変動兆候と発生機構の解釈が難しかった事例
－平成 19 年群馬県で発生した道路災害の事例－
 - ・ 能見忠歳氏（応用地質（株））
下半島易国間地区における落石災害への対応について
 - ・ 伊藤和広氏（奥山ボーリング（株））
肘折地区における緊急対応と崩壊予測
 - ・ 池田浩二氏（(株)東北開発コンサルタント）
白石地区のある地すべりの崩壊予測と管理基準値
 - ・ 総合討論 司会 濱崎英作氏（(株)アドバンテクノロジー）、
渡辺修氏（(合)スイモン LLC
- (3) 支部役員会・運営委員会・幹事会
- ① 幹事会 （平成 28 年 2 月 15 日 仙台市 東北工大一番町ロビー 22 名）
 - ② 運営委員会 （平成 28 年 3 月 23 日 仙台市東北工大一番町ロビー 24 名）
- (4) 地すべり学会山形大会の開催
- ① 県民講演会（平成 27 年 8 月 25 日 山形テルサ 1F テルサホール）
 テーマ 防災意識の向上に向けて
 自然を敬う心と科学の力 ～東北地方の山岳信仰と災害研究の現場から

講 師 三浦哲氏（東北大学大学院教授）、伊藤清郎氏（山形大学名誉教授）

②開会式、表彰式、特別講演、研究発表会、新技術紹介（8月26日 山形テルサホールほか）

③研究発表会、新技術紹介（8月27日 山形テルサホールほか）

④現地見学会（8月28日 肘折カルデラ周辺（28-29日）、月山周辺、蔵王火山周辺）

⑤参加者

研究発表会（総数 497名（正会員 334名）、（学生会員 19名）、（非会員 144名））

意見交換会（総数 346名（正会員 262名）、（学生会員 7名）、（非会員 77名））

現地見学会（総数 89名（Aコース 18名）、（Bコース 34名）、（Cコース 37名））

(5) 山形大会関連

① 第4回幹事会（平成27年5月27日 仙台市 東日本不動産仙台ファーストビル 5F 会議室
24名）

② 第5回幹事会（平成27年6月24日 仙台市 東北工業大学一番町ロビー 20名）

③ 第6回幹事会（平成27年7月22日 仙台市 東北工業大学一番町ロビー 22名）

④ 第2回実行委員会（平成27年8月7日 山形市 山形テルサ 3F 研修室A 12名）
第7回幹事会（同上、同上 21名）

⑤ 第8回幹事会（平成27年8月17日 山形市 山形テルサ 3F 研修室B 23名）

⑥ 第9回幹事会（平成27年9月28日 山形市 山形テルサ 3F 研修室B 14名）

⑦ 監査（暫定）（平成27年12月15日 仙台市・（一社）斜面協会東北支部会議室 5名）

⑧ 第3回実行委員会（平成27年12月22日 山形市 山形テルサ 3F 会議室 6名）
第10回幹事会（同上、同上 21名）

⑩ 監査（平成28年2月22日 仙台市・（一社）斜面協会東北支部会議室 5名）

(6) 関連団体との連携

① 山形応用地質第36号（山形応用地質研究会）に、山形大会の開催紹介報告を投稿

(7) 広報活動等

① 支部だより（26号）の発行（平成27年12月）

② 支部ホームページの更新

東北支部関連（幹事会、運営委員会など）

山形大会関連（実行委員会、幹事会など）

10. 新潟支部

(1) 平成27年度支部総会

- ・開催日：平成27年5月15日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）

(2) 第43回地すべりシンポジウム

- ・主 催：（公社）地盤工学会 北陸支部との共催
- ・後 援：新潟県、（一社）新潟県地質調査業協会、（一社）斜面防災対策技術協会新潟支部、
新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：平成27年5月15日

- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）
- ・テーマ：土砂災害危険度評価と土地利用－土砂災害防止法と新たな課題－
- ・参加者：108名

(3)第43回 地すべり現地検討会

- ・主 催：(公社)地盤工学会 北陸支部との共催
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・協 賛：新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会、新潟県治水砂防協会
- ・開催日：平成27年10月30日
- ・場 所：谷根広田地すべり（糸魚川市）
- ・テーマ：融雪期に発生したキャップロック型長距離運動地すべり
- ・参加者：58名

(4)新潟県地すべり災害記録CD改訂版の出版

平成27年5月15日、2015年版を出版（平成26年に発生した地すべり災害記録を追加）

(5)新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(6)新潟県地すべり対策研究会への参加

平成27年10月22日、研究部会（糸魚川市玉の木地すべり地）、支部から3名参加

平成28年3月15日、研究部会・総会（新潟市）、支部から3名参加

(7)会議記録(執行部会)

第1回 平成27年10月16日 8名出席

第2回 平成28年1月8日 7名出席

11. 関東支部

(1)総会

平成27年5月8日（金）12:30～13:10

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

出席者数43名 委任状数84名 計127名（定足数86名以上）

(2)シンポジウム

平成27年5月8日（金）14:00～17:00

東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：90名

- ・テーマ：富士山の斜面災害
- ・講演1：富士山の土砂災害－富士山大沢崩れの3大謎を解く－
中筋章人（国際航業株式会社）
- ・講演2：富士山のスラッシュ雪崩

・概要集発行

(3)意見交換会

平成27年5月8日（金） 17:30～19:30

東京大学山上会館1階（東京都）

参加者：39名

(4)現地検討会

① 第1回現地検討会－平成25年台風26号により発生した伊豆大島大金沢の崩壊－

平成27年4月25日（土）7:00～14:15

東京都大島町大金沢

協力：東京都大島支庁・大島町

講師：後藤聡（山梨大学）、安孫子昌弘・金澤大介（東京都大島支庁）

参加人数：17名（正会員10名、学生会員5名、非会員2名）

② 第2回現地検討会－平成19年台風4号により活動が活発化した山梨県楠田地すべり－

平成27年10月16日（金）10:20～16:00

山梨県南巨摩郡身延町三澤楠田（くすんだ）地区

協力：山梨県森林環境部治山林道課、峡南林務環境事務所、国土防災技術(株)山梨支店

講師：芦沢孝之（山梨県峡南林務環境事務所）、児玉卓也（国土防災技術(株)山梨支店）

参加人数：20名（正会員13名、非会員7名）

(5) 斜面協会との共催事業

国道254号内山峠災害現場合同見学会

平成27年11月5日（木）

群馬県甘楽郡下仁田町南野牧

主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部、(一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

後援：(公財) 群馬県建設技術センター、(NPO) 群馬県地すべり防止工事士会

・ 国道254号内山峠（旧道）地すべり災害地

・ 下仁田ジオパークの展示施設（下仁田町自然史館）

参加者：50名

(6) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・ 第1回（第1回幹事会合同） 平成27年4月13日 日本工営会議室（東京都）出席者19名

・ 第2回（第4回幹事会合同） 平成27年12月4日 ダイヤコンサルタント会議室（東京都）

出席者12名

② 幹事会

・ 第2回 平成27年6月1日 日本工営会議室 出席者13名

・ 第3回 平成27年9月1日 日本工営会議室 出席者12名

・ 第5回 平成28年3月25日 日本工営会議室 出席者10名

(7) 災害調査

災害発生：平成 27 年 9 月 9～10 日、栃木県内（鬼怒川上流域～鹿沼地方）

① 公益社団法人日本地すべり学会平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害調査団

団員：落合博貴、若井明彦、蔡飛、櫻井正明、林一成（関東支部会員で構成）

事務局：関東支部

・第 1 回現地調査 平成 27 年 11 月 28 日 栃木県日光市三依

・第 2 回現地調査 平成 27 年 12 月 20 日 栃木県日光市岩崎（白石川）

② 2015 年関東・東北豪雨災害土木学会・地盤工学会合同調査団

本部の要請により団員 2 名（若井明彦・櫻井正明）を派遣

・速報会報告 平成 27 年 12 月 15 日 13:30～16:40 主婦会館カトレア

・報告書作成 平成 28 年 3 月

(8) 広報活動等

・関東支部 Web ページ更新

・平成 28 年度国際地学オリンピック（三重大会）に協賛

12. 中部支部

(1) 運営委員会

・平成 27 年 4 月 24 日 ホテル国際 21（長野市）

・出席者：12 名

(2) 支部総会及び特別講演

・平成 27 年 4 月 24 日

・場所：ホテル国際 21（長野市）

・演題 1 「森林に期待される土砂災害抑制機能とその限界」

（公社）日本地すべり学会 中部支部 支部長 平松晋也 氏

・参加者：110 名

(3) 立山カルデラ視察調査

・平成 27 年 9 月 1 日

・常願寺川上流から下流の砂防施設

・参加者：16 名

(4) 現地見学会・検討会（静岡県浜松市）

・平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 10 月 2 日

・見学会：門島地すべり

・検討会：「移動計測による地すべり性崩壊の発生予測法」

中部支部 副支部長 林拙朗 氏

「静岡県の土砂災害対策について」

静岡県 交通基盤部 河川砂防局 砂防課 課長 八木正道 氏

「門島地すべり災害の初期対応について」

静岡県 浜松土木事務所 天竜支局 工事課 課長 杉本敏彦 氏

「門島地すべりの発生から対策工検討について」

日本工営株式会社 静岡営業所 課長 亀田尚志 氏

「門島地すべり災害関連工事の施工方法について」

ライト工業株式会社 中部統括支店 川崎洋右 氏

・参加者：41名

(5) 中部支部シンポジウム (TOiGO 長野市生涯学習センター)

・平成 27 年 11 月 6 日

・テーマ：「都市型土砂災害を考える」～改正土砂災害防止法をふまえて～

・基調講演：「土砂災害の実態と改正土砂災害防止法について」

国土交通省 砂防部砂防計画課 砂防計画調整官 三上幸三 氏

「最近の土砂災害とその対策について」

国土交通省 多治見砂防国道事務所 所長 草野慎一 氏

「脱桎梏のツケと防災」

防衛大学校 名誉教授 中村三郎 氏

・パネルディスカッション：「都市型土砂災害を考える」

コーディネーター (公社)日本地すべり学会 中部支部支部長 平松晋也 氏

パネラー (公社)日本地すべり学会 会長 土屋智 氏

国土交通省 砂防部砂防計画課 砂防計画調整官 三上幸三 氏

国土交通省 多治見砂防国道事務所 所長 草野慎一 氏

長野県建設部 参事兼砂防課長 蒲原潤一 氏

(一財)砂防・地すべり技術センター 理事長 近藤浩一 氏

・参加者：177名

(6) (一社)斜面防災対策技術協会との災害協定の締結

・平成 27 年 5 月 1 日：(一社)斜面防災対策技術協会静岡支部

(7) 中部支部ニュース発行 平成 28 年 3 月 31 日

(8) 幹事会

・平成 27 年 4 月 17 日：長野県土木センター，出席者：14 名

・平成 27 年 8 月 7 日：長野県土木センター，出席者：14 名

・平成 27 年 10 月 7 日：長野県土木センター，出席者：12 名

・平成 28 年 1 月 13 日：長野県土木センター，出席者：14 名

13. 関西支部

(1) 第 1 回運営委員会

・日 時：平成 27 年 4 月 3 日 (金)

・場 所：京都大学防災研究所 S-207D

・出席者：12 名 委任状 4 名

・議 事：

報 告

- ・ 運営委員役員選定について(平成 27 年度から 28 年度)
- ・ 平成 26 年度第 2 回運営委員会議事録
- ・ 平成 26 年度支部事業報告
- ・ 平成 26 年度行事関係会計報告
- ・ 会誌「らんどすらいど」No. 30
- ・ 協賛会員名簿
- ・ 平成 26 年度支部決算報告
- ・ 支部推薦の代議員候補者決定
- ・ その他

議 題

- ・ 平成 27 年度事業計画
- ・ 平成 27 年度予算計画
- ・ 関西支部活動計画(提案計画)
- ・ その他
- ・ 平成 28 年度の年次大会について

(2) 春のシンポジウム「土砂災害が迫る中での避難指示・勧告 ―平成 26 年 8 月の西日本災害を例に―」開催

- ・ 日 時：平成 27 年 4 月 14 日(火) 10:00~17:00
- ・ 場 所：大阪建設交流館
- ・ 主 催：(公社) 日本地すべり学会関西支部
- ・ 後 援：(公社) 砂防学会・(公社) 地盤工学会関西支部
(一社) 建設コンサルタント協会近畿支部
- ・ 参加者：77 名

講演者

- ・ 平成 26 年 8 月広島土砂災害の実態
京都大学 千木良雅弘
- ・ 平成 26 年 8 月に高知県大豊町で発生した地すべり災害の実態
(株)地研 中根久幸
- ・ 土砂災害に対する警戒避難のための気象情報について
気象庁大阪管区气象台 永井章
- ・ 高知市鏡的湊地区地すべり災害における住民の避難の事例
高知市農林水産部鏡地域振興課 池田康友
- ・ 平成 26 年 8 月怒田地すべり災害時における国土交通省の対応
国土交通省四国山地砂防事務所 竹下航
- ・ 広島土砂災害における住民の避難について
広島市自主防災アドバイザー 柳迫長三

パネルディスカッション

「地すべり技術者と住民の警戒避難」 司会 笹原克夫(高知大学)

(3) 関西支部 総会

- ・日 時：平成 27 年 4 月 14 日（火） 11:30～12:00
- ・場 所：大阪建設交流館
- ・議 題：平成 26 年度活動報告
平成 26 年度決算報告
平成 27 年度予算・活動計画

(4) 平成 27 年度現地見学会及び現地討論会「激甚災害対応の教訓と課題
—平成 25 年 7 月島根・山口の災害事例—」

- ・日 時：平成 27 年 10 月 30 日～10 月 31 日
- ・場 所：津和野町公民館 見学地：島根県・山口県内地すべり地
- ・主 催：（公社）日本地すべり学会関西支部
- ・後 援：島根県・津和野町・公益社団法人・砂防学会
公益社団法人・地盤工学会・関西支部・中国支部
一般社団法人・建設コンサルタント協会中国支部
- ・参加者：24 名、現地見学会 24 名

講演者

- ・平成25年島根県豪雨災害における治山事業による災害復旧について
森脇偉之(島根県農林水産部森林整備課治山グループ リーダー)
- ・激甚災害による公共土木施設及び農地・農業用施設等の被害状況・災害復旧
田村津与志(津和野町役場建設課 課長)
- ・平成25年島根県西部豪雨災害におけるコンサルタントの対応
高橋宏道(株式会社ワールド測量・技術部設計1課 課長)
- ・平成25年島根・山口激甚災害調査
汪 発武(島根大学大学院総合理工学研究科 教授)

(5) 第 2 回運営委員会

- ・日 時：平成 27 年 11 月 6 日(金)
- ・場 所：京都大学防災研究所本館 セミナー室（S-207D）
- ・出席者：8 名 委任状 7 名

議 事

報 告

1. 平成 27 年度第 1 回運営委員会議事録
2. 平成 27 年度支部事業報告
 - (1) シンポジウム
 - (2) 現地討論会
3. 行事関係会計
4. 平成 27 年度今後の事業予定
 - (1) 講習会「空間情報の利活用」
 - (2) 会誌「らんどすらいど」No. 31

5. 平成 28 年全国大会の準備進行状況の報告

(6) 講習会

- ・日 時：平成 27 年 11 月 9 日
- ・場 所：公立学校共済組合ピュアリティまきび（岡山県岡山市）
- ・主 催：（公社）日本地すべり学会関西支部
- ・後 援：一般社団法人 建設コンサルタント協会中国支部
- ・参加者：21 名
- ・講演者
 - ・空間情報の基礎知識
津留宏介（日本測量協会測量技術センター）
 - ・光学センサーの利活用
堀大一郎（国際航業株式会社）
 - ・航空レーザーの利活用
船越和也（アジア航測株式会社）
 - ・衛星データの利活用
下村博之（株式会社パスコ）
 - ・パネルディスカッション モデレーター
眞弓孝之（国土防災技術株式会社）

(7) 「らんどすらいど 3 1」会誌の発行・発送

- ・日 時：平成 28 年 2 月 5 日

講演者

- ・表層地質・斜面地質を理解する上での“ノンテクトニック断層”
横田修一郎（元島根大学）
- ・釣井地区における地すべり特性について
小林昌弘・渡部弘明（(株)基礎建設コンサルタント）
- ・徳島県剣山東方地域に分布する地すべり地形の形成年代
西山賢一（徳島大学）・北村真一（(株)ニュージェック）

14. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：平成 27 年 6 月 25 日 10：00～11：30
- ・会 場：福岡市（TKPガーデンシティ博多アネックス）
- ・参加者：25 名

(2) 支部総会

- ・開催日：平成 27 年 6 月 25 日 11：40～12：10
- ・会 場：福岡市（TKPガーデンシティ博多アネックス）
- ・参加者：50 名

(3) 支部学術講演会

- ・開催日：平成 27 年 6 月 25 日 13：00～17：05
- ・会場：福岡市（TKPガーデンシティ博多アネックス）
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・後援：福岡県
- ・講演：久保田哲也（九州大学大学院教授）、ほか 9 件
- ・展示セッション：3 社
- ・参加者：83 名

(5) 支部技術検討会

- ・開催日：平成 28 年 1 月 29 日 13：30～17：20
- ・会場：琉球大学農学部
- ・主催：（公社）日本地すべり学会九州支部、琉球大学農学部土地環境保全学研究室
- ・共催：（一社）斜面防災対策技術協会九州支部
- ・参加者：105 名
- ・講演：安藤詳平（沖縄総合事務局開発建設部河川課長）、ほか 7 件

(6) 支部ウェブサイト更新

- ・平成 27 年 5 月 12 日：H27 支部総会・学術講演会・現場見学会のお知らせ
- ・平成 27 年 5 月 26 日：展示発表について（H27 支部学術講演会）
- ・平成 27 年 6 月 8 日：H27 支部学術講演会プログラムほか